

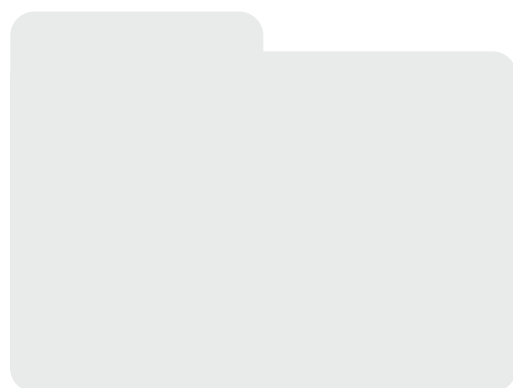


たんまつを使うと、いろいろなし点で考えたり、調べたことをまとめたりするなど、考えることを助けてくれます。ここでは、たんまつを使って考えるときに知っておくべきことや気をつけるべきことについて学びます。

さいしょにチェックしてみよう

- わたしは、いろいろなデータを上手にほぞんできると思う
- わたしは、調べたじょうほうを整理することができると思う
- わたしは、目のけんこうを守って使っていると思う
- わたしは、「知らない人に教えてはいけないじょうほう」がわかると思う
- わたしは、まずは自分の頭で考えてからたんまつを使って調べていると思う
- わたしは、たんまつをこわしてしまわないと思う

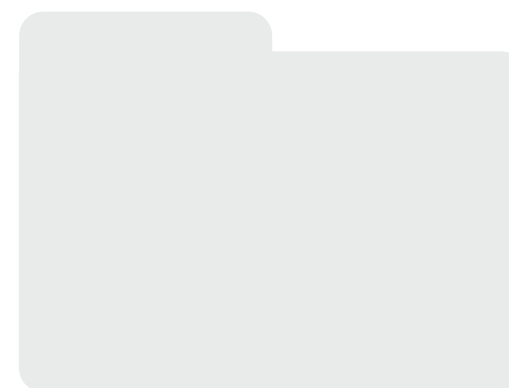
たんまつにいろいろなデータがあります。
このデータをどのフォルダにほぞんするとよいでしょうか。



さんすう
算数のフォルダ



こくご
国語のフォルダ



がぞう
画像のフォルダ

せい 正かい



さんすう
算数のフォルダ



こくご
国語のフォルダ



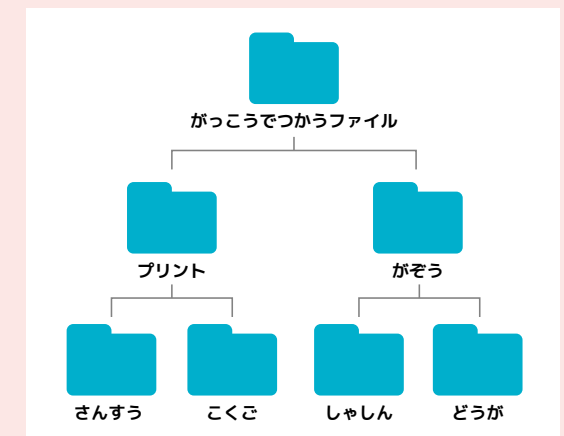
がそふ
画像のフォルダ

☆ スキルのポイント

いろいろなデータをきちんと整理してほぞんすることで、次にそのデータを見たいときにさがしやすくなります。

計算のプリントであれば算数のフォルダに、漢字のプリントであれば国語のフォルダに、写真や動画であれば画像のフォルダに入れておくとよいでしょう。

ふだんの生活と同じように、データも整理整頓ができるとういでしょう。



「好きな食べ物」について、10人の友だちにインタビューをしたところ、次のようなけっかになりました。



しら 調べたけっかを表で整理してみよう。

た もの 食べ物	おすし			
にんずう 人数	2			

せい 正かい

たもの 食べ物	おすし	ラーメン	からあげ	カレー
にんずう 人数	2	4	3	1

☆ スキルのポイント

ひょう
表にしてみると、ランキングをつくときやくだ
もともと
元々のデータからは、おすしをす
きな人がどれくらいいるかパッと見てわかりませんが、ひょう
表にすると一目でわかるようになります。

たとえば、ひと
10人のなかでいちばんにんき
「ラーメン」(にん
4人)です。つぎ
次は、「から
あげ」(にん
3人)、「おすし」(にん
2人)、「カレー」(にん
1人)となります。

1位 ラーメン



2位 からあげ



3位 おすし



4位 カレー

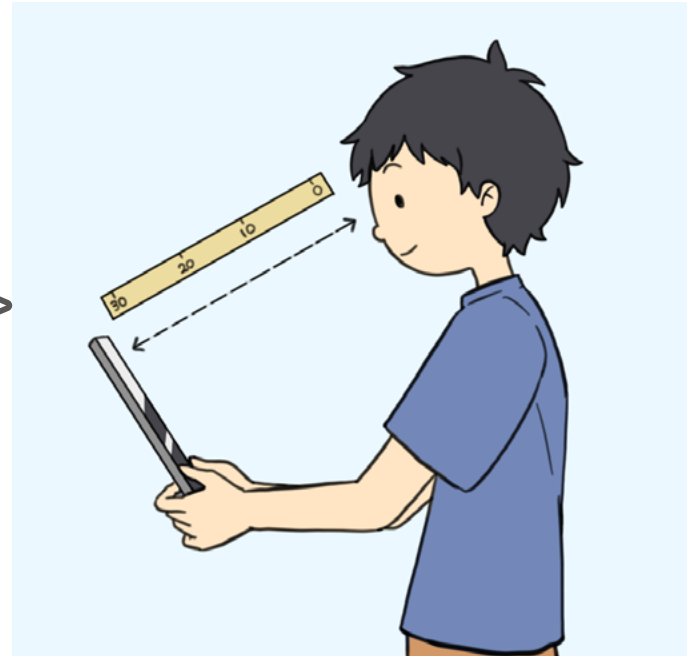


つぎ
次のことをじっさいにやってみましょう。

- ① たんまつを持って、ふだん使っているしせいになりましょう。
- ② 目からたんまつまでのきよりははかってみましょう。



とも
友だちとくらべてみよう



★ スキルのポイント

たんまつを使うときには、目のけんこうをまもることが大切です。

しゅうちゅうめちか
集中すると、目がたんまつに近づきすぎたり、まばたきをしないで見てしまったりすることが多くなります。

め
目をたんまつから30センチメートル以上はなしてみるために、どのくらいが30センチメートルなのかはかってみましょう。

また、30分に1回はたんまつから目をはなして20秒以上遠くを見たり、ゆっくりとまばたきをしたりするようにしましょう。



知らない人に教えてはいけないじょうほうとは

つぎのうち、知らない人にできるだけ教え^{おし}ないほうがよいじょうほうはどれでしょうか。

1

じぶん なまえ
自分の名前と
たんじょう日

2

じぶん いえ
自分の家の
じゅうしょ
住所

3

じぶん いろ
自分の好きな色

おし もんだい
教えても問題はあまりない **A**

B できるだけ教え^{おし}ないほうがよい

せい
正かい

おし もんだい
教えても問題はあまりない **A**

3

じぶん いろ
自分の好きな色

B できるだけ教えないほうがよい

1

じぶん なまえ
自分の名前と
たんじょう日

2

じぶん いえ
自分の家の
じゅうしょ
住所

☆ スキルのポイント

じぶん なまえ じゅうしょ じぶん
自分の名前やたんじょうび、住所などの自分がだれなのかがわかってしまうじょうほうのことを「こじんじょうほう」といいます。

こじんじょうほうは、知らない人におしえたりネットにかいたりしないようにしましょう。





わからないときにどうすればよいかな

あなたは、「キリンの首はなぜ長いのだろう？」とふしぎに思いました。

あなたはこのあとどのよう^{こうどう}に行動しますか？

次^{つぎ}の中^{なか}から1つえらんでください。

1



すぐにたんまつで^{しら}調べる

2



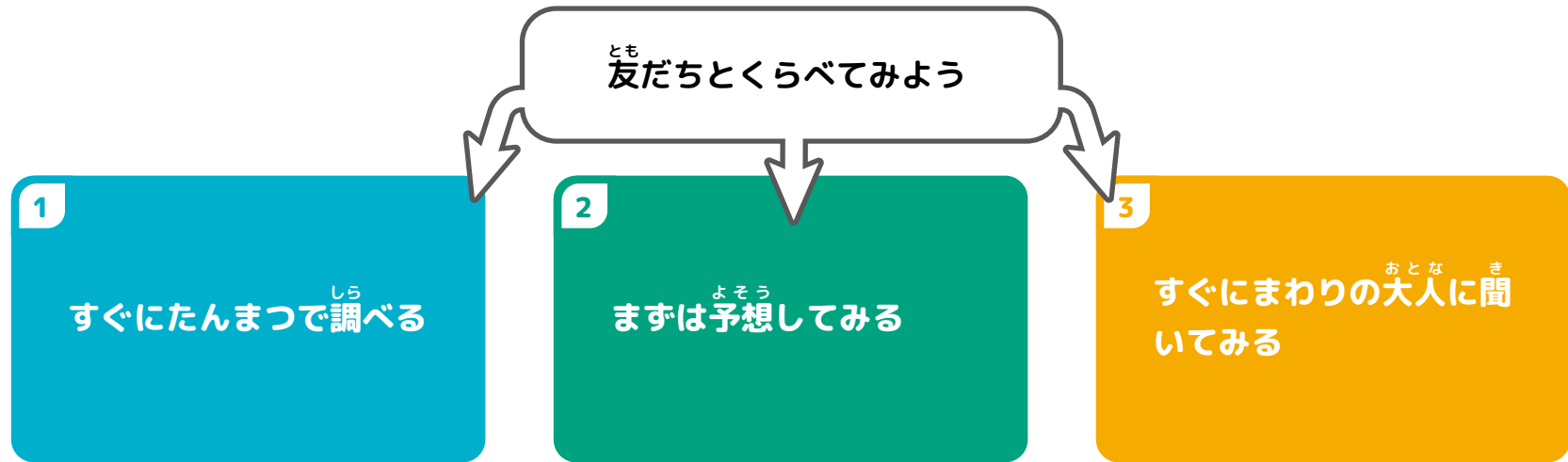
まずは予想^{よそ}してみる

3



すぐにまわりの大人^{おとな}に聞^きいてみる





★ スキルのポイント

たんまつを使うと様々なじょうほうがしらべられます。もちろんそうした方ほうで調べたり、図書室で調べたり、くわしそうなおとなに聞いてみたりして、答えを見つけることも大切です。

しかし、調べたり、聞いてみたりする前に、自分で予想してみることも大切です。

「なぜなのかな」と自分で考えてから、調べたり、聞いてみたりしてみましよう。





たんまつをこわしてしまうときは

たんまつを^{つか}使って^{がくしゅう}学習していたら、たんまつをこわしてしまいました。
次の中から、自分が一番^{つぎ なか}やって^{じぶん いちばん}しまいそうなることをえらんでみましょう。

1 つくえのうえがちらかっ
ていて^お落としてしまった

2 も^{はこ}持ち運ぶときに
^お落としてしまった

3 うご
動かないので
つよ
強くタップしてしまった

4 ものをはさんだまま
とじてしまった

5 ぬれた手^てで
さわってしまった

とも
友だちとくらべてみよう

1

つくえのうえがちらかっ
ていて落としてしまった

2

も はこ
持ち運ぶときに
お落としてしまった

3

うご
動かないので
つよ
強くタップしてしまった

4

ものをはさんだまま
とじてしまった

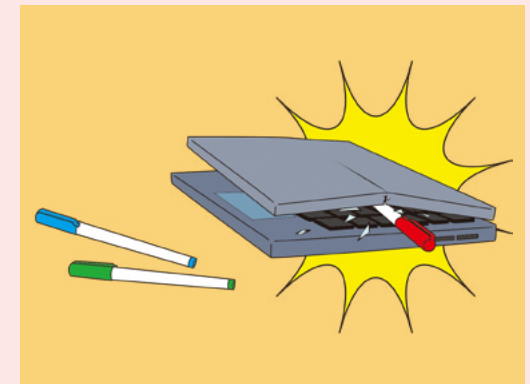
5

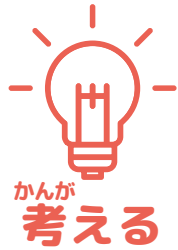
ぬれた手で
さわってしまった

☆ スキルのポイント

たんまつは、^お落したり、^{つよ}強くおしたり、ぬれた手でさわったりするとこわれてしまうことがあります。

つくえの^{うえ}上を^{かた}片づけたり、もちはこぶときは^{りょうて}両手でもったり、ものをはさんだままとじたりしないようにしましょう。





まとめ

じょうず つか 上手に使うために

「考える」ためには、じょうほうを整理しておくことが大切です。きちんとほぞんし、いつでも取り出せるようにしましょう。

また、目のけんこうを守りながら使うことも大切です。特に、集中して使っているときこそ、目をはなして使っているかをチェックしてみましょう。

チェックしてみよう

- わたしは、いろいろなデータを上手にほぞんすることができる
- わたしは、調べたじょうほうを整理することができる
- わたしは、目のけんこうを守って使うことができる
- わたしは、「知らない人に教えてはいけないじょうほう」をせつ明することができる
- わたしは、まずは自分の頭で考えてからたんまつを使って調べることができる
- わたしは、たんまつをこわさないようにくふうすることができる